

# 環境経営レポート2023

対象期間＜2022年10月～2023年9月＞  
2023年12月21日作成



## 目次

1. 環境経営方針 .....	2
2. 組織の概要 .....	3
3. 対象範囲・実施体制 .....	4、5
4. 環境経営目標・計画・実績 .....	6、7、8
5. 環境負荷実績値 .....	9、10
6. 環境経営の取組結果と評価及び次年度の取組内容	11、12
7. エコアクション活動の取り組み事例 .....	13、14、15、16
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 .....	17
9. 代表者による全体評価と見直しの結果 .....	18

## 常盤工業株式会社 環境経営方針

### [基本理念]

私達は、子供たちの未来のために地球環境の保全を心掛け、地球人口100億人時代が到来しても全地球人が幸せに暮らしていけるような「資源循環型社会」の構築に貢献します。

### [行動指針]

- 1 地球環境保護のため、お客様に省エネ住宅、省エネ施設、省エネ改修などの提案を積極的に行い、併せて環境に配慮した工事方法を工夫していきます。
- 2 省エネを推進し、二酸化炭素排出量削減に努めます。
- 3 水利用量および排水量の削減に努めます。
- 4 リサイクル活動を推進し、廃棄物排出量削減に努めます。
- 5 事務用品や原材料のグリーン購入を促進します。
- 6 全社員に環境教育を行い、環境保全の意識を高めます。
- 7 組織に適用される環境に関する法規等を遵守します。
- 8 環境経営レポートを社内外に公表し、コミュニケーション活動を積極的に行います。
- 9 環境経営を事業発展のチャンスと捉え、継続的改善を誓約します。

制定日 2013年11月1日  
改定日 2019年09月1日

常盤工業株式会社  
代表取締役 市川 浩透

## 2. 組織の概要

### 1. 事業者名及び代表者名

常盤工業株式会社 代表取締役 市川 浩透

### 2. 所在地

本社： 静岡県浜松市中区新津町197番地

### 3. 管理責任者及び担当者連絡先

責任者： 取締役管理本部長 矢野 吉陸

TEL：053-461-9156 FAX：053-461-7956 E-Mail：y-yano@tokiwak.co.jp

担当者： 総務本部 アソシエイト 新貝 えり子

E-Mail：eriko-s@tokiwak.co.jp

### 4. 事業内容

総合建設業（建築一式、土木一式、建物再生事業、不動産事業、損害保険代理店事業）

建設業許可： 静岡県知事（特-4）第3970号 許可年月日 令和4年10月14日

有効期間 令和4年12月5日～令和9年12月4日

許可業種（土木、建築、大工、左官、とび・土工、石、屋根、タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、鉄筋、舗装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、熱絶縁、建具、水道施設、解体、造園）

一級建築士事務所： 静岡県知事登録（15）第546号 許可年月日 令和4年3月10日

有効期間 令和4年5月20日～令和9年5月19日

宅地建物取引業免許： 静岡県知事（8）第10287号 許可年月日 令和5年8月3日

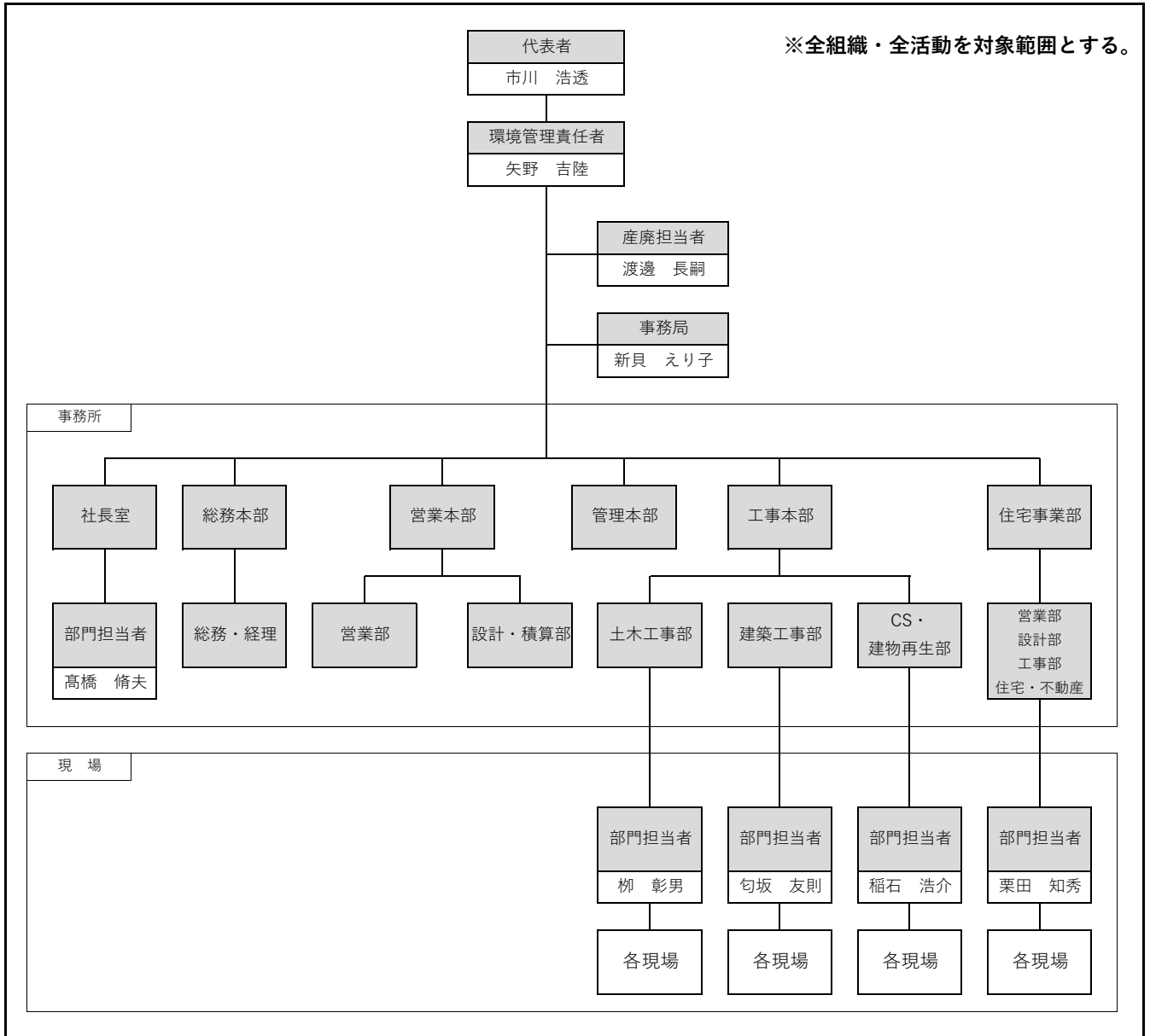
有効期間 令和5年8月4日～令和10年8月3日

### 5. 事業の規模

活動規模	単位	71期 (2020.10～2021.9)	72期 (2021.10～2022.9)	73期 (2022.10～2023.9)
売上高	百万円	3,755	4,817	4,878
従業員	人	93	98	98
事務所床面積	m <sup>2</sup>	1153.58	1771.04	1771.04
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	1065.88	1065.88	1065.88

### 3. 対象範囲・実施体制

#### エコアクション組織図



エコアクション21

認証・登録番号 0008446

対象事業所 常盤工業株式会社 本社、和田展示場

事業活動 総合建設業（建築一式、土木一式、大工、左官、とび・土工、石、屋根、タイル・レンガ・ブロック、鋼構造物、鉄筋、舗装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装、熱絶縁、建具、水道施設、解体、造園）、不動産売買・仲介、損害保険代理店事業

認証・登録日 2012年 6月26日

更新・登録日 2022年 6月26日

有効期限 2024年 6月25日

担当者	役割・責任・権限
代表者：  代表取締役 市川 浩透	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション21に関する代表責任者</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>・効果的で十分な実施体制の構築、全従業員への周知</li> <li>・エコアクション21実施における人材、設備、費用を用意する</li> <li>・環境管理責任者の任命を行う</li> <li>・環境経営方針の制定、改訂及び全社員への周知</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施する</li> <li>・環境マネジメントシステムの承認</li> </ul>
環境管理責任者：  取締役 矢野 吉陸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステム全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する</li> <li>・代表者への報告</li> <li>・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理</li> <li>・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改訂の指示</li> <li>・環境経営への評価及び次年度の取り組み事項の決定</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
産廃担当者： 渡邊 長嗣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物（一般・産業廃棄物）の分別管理</li> <li>・廃棄物の排出量の管理（実績集計）</li> <li>・産廃に関する環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック</li> </ul>
事務局： 総務本部 新貝 えり子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション21における文書の作成</li> <li>・環境経営目標及び環境経営計画案の作成</li> <li>・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営レポートの作成</li> <li>・エコアクション（美観）パトロールの実施及び展開</li> <li>・環境活動の実績集計及び目標進捗状況の確認</li> </ul>
社長室： 高橋 脩夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクションポスターの作成と掲示</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・CSR活動の計画と連絡調整</li> <li>・CSR活動における目標設定及び実績報告書の作成</li> </ul>
部門担当者： 建築工事部 匂坂 友則 CS・建物再生部 稲石 浩介 土木工事部 柳 彰男 住宅事業部 栗田 知秀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部門における環境マネジメントの実施</li> <li>・環境目標及び環境活動計画案の作成</li> <li>・各記録の実施</li> <li>・問題点のチェック及び予防処置の実施</li> <li>・緊急事態のマニュアル作成及び試行訓練の実施</li> </ul>
現場所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各現場で使用した資源の使用量を実績報告（毎月）</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の確認・理解</li> <li>・各個人における環境マネジメントシステムの実施</li> <li>・環境負荷に対する積極的活動</li> </ul>

## 4 - 1 73期 環境経営目標

取組項目		対象	単位	進捗確認 頻度	3期 平均	73期	74期	75期	76期	77期	
					基準値	目標	目標	目標	目標	目標	
1	二酸化炭素 総排出量の削減	総排出量	全体	kg-CO <sub>2</sub>	毎月	289,793	288,344	286,902	285,467	284,040	282,620
		ガソリン	事務所	kg-CO <sub>2</sub> /人	毎月	1853	1844	1835	1825	1816	1807
		電力・化石燃料	現場	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	毎月	23.77	23.65	23.53	23.42	23.30	23.18
2	コピー用紙購入数量の削減	全体	t	1年	1.86	1.85	1.84	1.83	1.83	1.82	
3	産業廃棄物 再資源化率の向上	現場	%	1年	95.2	95.6	96.1	96.6	97.1	97.6	
4	水使用量	事務所	m <sup>3</sup> /人	2ヶ月	8.52	8.48	8.44	8.39	8.36	8.32	
5	社会貢献活動	清掃活動	全体	回数/年	2ヶ月	10	10	10	10	10	10
		ボランティア活動	全体	件数/年	2ヶ月	10	10	10	10	10	10
6	環境に配慮した工事の(提案)件数	建築	現場	回数/年	2ヶ月	3	+1	+2	+3	+4	+5
		土木			2ヶ月	3	+1	+2	+3	+4	+5
		住宅			2ヶ月	5	+1	+2	+3	+4	+5

※1 事務所の二酸化炭素総排出量及び水使用量は、従業員1人あたりの目標値とし、目標設定基準は、直近の過去3ヵ年

(70期・71期・72期)の平均値を基準値とする。(73期から77期までは、基準値より0.5%ずつ削減または向上とする。)

なお、現場の電力・化石燃料については、71期の実績値を基準値としております。

※2 事務所の電力については2022年10月より、CO<sub>2</sub>フリー電気「静岡Greenでんき」を使うようになりましたので

二酸化炭素排出量のカウントはしていません。

※3 現場購入電力のco<sub>2</sub>排出量については2017年以降、中部電力の調整後排出係数 0.472kg-co<sub>2</sub>/kwh を使用しております。

4 - 2 環境経営計画

目的	区分	項目	責任者	担当	取組内容	活動時期
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	矢野	全社員	①消灯の徹底	都度
					②クールビス、ウォームビスの推奨	
					③PC長期離席時、電源OFFの徹底	
	ガソリン	車両	社長	全社員	①アイドリングストップの励行	毎日
					②エコドライブの徹底（急発進・急加速・急停車等の禁止）	
					③車両の定期点検（タイヤ空気圧・不要積載物の確認）	
購入電力 化石燃料	照明 重機	部門担当者	現場監督	①重機のアイドリングストップの励行	毎日	
				②現場事務所内の消灯の徹底		
廃棄物の削減	コピー用紙の使用量削減		矢野	全社員	①コピー用紙の両面使用・裏紙使用	毎日
					②封筒の再利用	
					③ペーパーレス化の推進（紙媒体からデータ化）	
	産業廃棄物の再資源化率の向上		渡邊	現場監督	①廃棄物の分別化	毎日
					②プレカットの推進	
					③仮設資材、用具のリユース化	
節水	上水		矢野	全社員	①節水表示	毎日
					②井水利用	
環境配慮	工事現場		部門担当者	現場監督	建築：産廃の分別徹底、コンテナ多数設置（混合、石膏ボード、鉄くず、段ボール） 土木：再生材料の活用 住宅：太陽光パネルの設置提案	随時
地域貢献	ボランティア・清掃等		高橋	全社員	①本社及び現場の近隣道路清掃	毎月1回
					②お宮の清掃	年1回
					③ボランティア活動の推進	都度



#### 4-3 環境実績

取組項目	対象	単位	進捗	70期	71期	72期	3期平均	73期		達成率	評価	
				実績	実績	実績	基準値	目標	実績	(%)		
1 二酸化炭素 総排出量の削減	総排出量	全体	kg-CO2	毎月	231,894	294,766	342,718	289,793	288,344	230,247	125	◎
	ガソリン	事務所	kg-CO2/人	毎月	1845	1782	1932	1853	1845	1360	136	◎
	電力・化石燃料	現場	kg-CO2/百万円	毎月	—	23.33	24.20	23.77	23.65	19.89	119	◎
2	コピー用紙購入数量の削減	事務所	t	1年	1.76	2.01	1.81	1.86	1.85	1.66	111	◎
3	産業廃棄物 再資源化率の向上	現場	%	1年	95	95.9	95.3	95.6	95.6	96.2	101	○
4	水使用量	事務所	m <sup>3</sup> /人	2ヶ月	8.56	8.37	8.63	8.52	8.48	4.27	199	◎
5 社会貢献活動	清掃活動	全体	回数/年	2ヶ月	10	10	10	10	10	10	100	○
	ボランティア活動	全体	件数/年	2ヶ月	—	10	9	10	10	10	100	○
6 環境に配慮した 工事の（提案） 件数	建築	現場	件数/年	2ヶ月	—	1	5	3	6	6	100	○
	土木		件数/年	2ヶ月	—	3	3	3	4	4	100	○
	住宅		件数/年	2ヶ月	—	4	6	5	7	25	357	◎

※1 過去3ヶ年（70期・71期・72期）の平均値を基準値とする。

※2 評価：◎（達成率110%超）○（達成率100%以上～110%未満）△（達成率90%以上～100%未満）×（達成率90%未満）

## 5 - 1 環境負荷の実績値（絶対値）

### 【事務所】

項目	単位	実績値							
		67期	68期	69期	70期	71期	72期	73期	
1	二酸化炭素総排出量	kg-CO2	196,099	212,692	213,594	209,386	207,133	226,108	133,279
2	電力使用量	KWh	61,509	60,278	57,765	57,894	53,284	67,805	60,188
	ガソリン使用量	リットル	65,552	72,400	73,756	70,777	71,418	81,629	57,448
	都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	6,600	7,171	7,044	8,083	7,543	2,188	0
	灯油使用量	リットル	118	260	100	160	0	0	0
3	一般廃棄物排出量	トン	9.3	11.1	11.2	10.0	10.4	10.9	10.2
4	水使用量	m <sup>3</sup>	894	793	714	762	778	846	418

### 【建設現場】

項目	単位	実績値							
		67期	68期	69期	70期	71期	72期	73期	
1	二酸化炭素総排出量	kg-CO2	24,482	25,790	18,238	22,508	87,633	116,610	96,968
2	電力使用量	Kwh	21,061	37,566	22,580	36,536	71,581	96,905	90,708
	ガソリン使用量	リットル	1,043	707	529	177	3,952	3,307	2,780
	軽油使用量	リットル	3,196	1,130	1,060	1,782	17,144	24,331	18,188
	灯油使用量	リットル	118	0	60	54	180	170	313
	LPG使用量	kg	56	24	56	40	0	0	0
3	産業廃棄物排出量	トン	3,234	5,368	4,502	5,437	4,835	7,576	9,062
4	水使用量	m <sup>3</sup>	2,507	606	264	510	852	740	1,029

70期までの二酸化炭素排出量及び化石燃料使用量は、完工高5千万円/件の工事を抽出し集計していた。  
71期（以降）については、全工事を対象に集計する方法に変更している。

5-2 環境負荷の実績値 (グラフ)

環境負荷実績グラフ

年度別		2018年 (68期)	2019年 (69期)	2020年 (70期)	2021年 (71期)	2022年 (72期)	2023年 (73期)
売上高	百万円	4,443	3,629	4,452	3,755	4,817	4,878
従業員数	人	81	82	89	93	98	98

【事務所】

CO2排出量		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
購入電力	Kg-co2/人	352.74	332.50	307.02	270.43	326.57	0.00
ガソリン	Kg-co2/人	2075.17	2086.76	1844.97	1781.61	1932.44	1359.99
都市ガス	Kg-co2/人	197.91	185.55	196.17	175.19	48.22	0.00

購入電力	Kg-co2	28,572	27,265	27,325	25,150	32,004	0
ガソリン	Kg-co2	168,089	171,114	164,202	165,690	189,379	133,279
都市ガス	Kg-co2	16,031	15,215	17,459	16,293	4,726	0

一般廃棄物		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
一般排出量	Kg/人	138.15	136.48	112.17	111.34	120.10	103.68
再資源化量	Kg/人	66.42	80.35	60.00	61.88	63.88	60.83
再資源以外	Kg/人	71.73	56.12	52.17	49.46	56.22	42.86

一般排出量	Kg	11,190	11,191	9,983	10,355	11,770	10,161
再資源化量	Kg	5,380	6,589	5,340	5,755	6,260	5,961
再資源以外	Kg	5,810	4,602	4,643	4,600	5,510	4,200

排水量		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
本社 水道水	m <sup>3</sup> /人	9.79	8.71	8.56	8.37	8.63	4.27

水道水	m <sup>3</sup>	793	714	762	778	846	418
-----	----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

【建設現場】

CO2排出量		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
購入電力	Kg-co2/百万円	8.46	2.94	5.17	9.00	9.50	8.78
ガソリン	Kg-co2/百万円	0.37	0.34	0.24	2.44	1.59	1.32
軽油	Kg-co2/百万円	0.66	1.66	1.61	11.78	13.03	9.62

		9.48	4.94	7.02	23.22	24.12	19.72
購入電力	Kg-co2	37,566	10,657	23,020	33,786	45,739	42,814
ガソリン	Kg-co2	1,642	1,228	1,053	9,168	7,672	6,449
軽油	Kg-co2	2,923	6,035	7,162	44,230	62,775	46,926

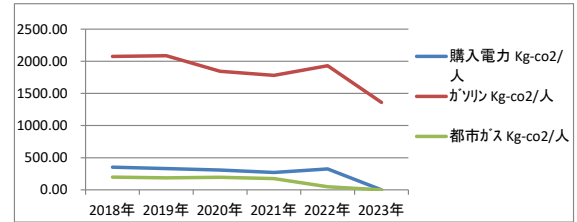
産業廃棄物		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
産廃排出量	t/百万円	1.21	1.24	1.20	1.29	1.57	1.86
再資源化量	t/百万円	1.05	1.01	1.15	1.23	1.48	1.79
再資源以外	t/百万円	0.16	0.23	0.05	0.06	0.09	0.07

産廃排出量	t	5,369	4,502	5,335	4,835	7,576	9,062
再資源化量	t	4,674	3,671	5,100	4,611	7,153	8,715
再資源以外	t	696	831	235	224	423	347

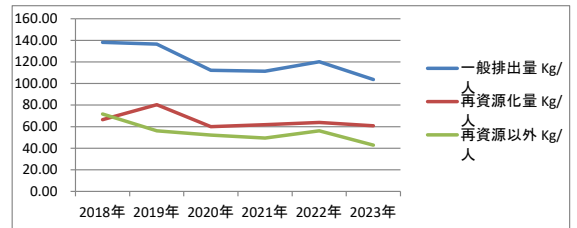
排水量		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
現場 水道水	m <sup>3</sup> /百万円	0.14	0.07	0.23	0.23	0.15	0.21

水道水	m <sup>3</sup>	606	264	1,006	852	740	1,029
-----	----------------	-----	-----	-------	-----	-----	-------

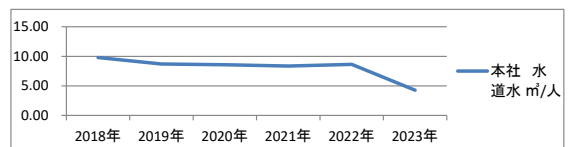
1)CO2排出量/人



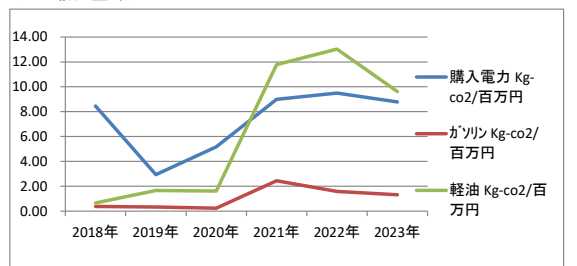
2)一般廃棄物排出量/人



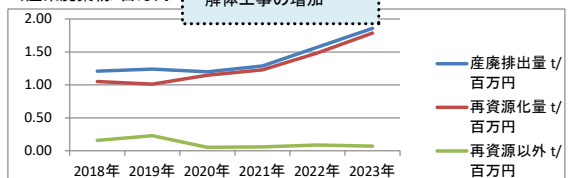
3)排水量/人



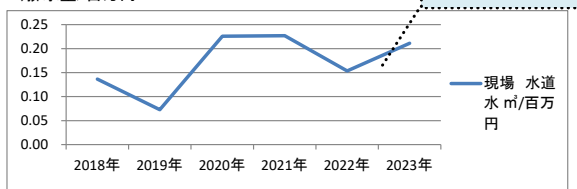
4)CO2排出量/百万円



5)産業廃棄物/百万円



6)排水量/百万円



## 6. 環境経営の取組結果と評価及び次年度の取組内容

取組項目		対象	評価	評価に対するコメント及び次年度の取組事項	
1	二酸化炭素 総排出量の削減	電力	事務所	○	本社の一次エネルギー（電力）は初年度は消費電力を発電量が上回るNetZEBで運用し、カーボンニュートラルを実現しています。又、購入している電力はCO2フリーのGreenでんきとしています。2年目は社員の増加などによりコンセント等の消費電力は増えていますが、空調の運用を工夫する事で全体の消費電力はわずかですが減少しています。次期からも空調運用の工夫とクールビズ、ウォームビズの推奨、使用していない場所での消灯の徹底を進めていく。
		ガソリン		◎	今後もエコドライブを推奨し、エコドライブ活動の参加率を上げていく。又、今後自動車買い替え予定のある社員に対し、低燃費車の検討を促す呼びかけを各部会議等で展開しております。
		電力・化石燃料	現場	◎	現場での電力購入と軽油購入が大きく減少した事により、達成率120%となっている。現場の特性により変動が大きいですが、現場事務所不在時の消灯や効率的なエアコン利用、効率的な重機使用等、できる施策は続けていく。
2	コピー用紙の使用量削減	事務所	◎	会議体、教育訓練などでペーパーレス化を推進し、社内業務に関しては裏紙の使用を推奨する事により、目標達成しました。次期からも更なる削減をしていきます。封筒の再利用は封筒の利用が減った為、来期の取組内容から外す。	
3	産業廃棄物 再資源化率の向上	現場	○	目標に対する達成率が101%でした。現場での分別廃棄を進め、再資源化率の低い混合廃棄物を少しでも減らすことにより、更なる向上を目指していきます。	
4	水使用量	事務所	◎	新社屋の新築工事や旧社屋の解体工事で大量に水を使っていた分が無くなり、大幅に使用量は減っている。新社屋では節水型のトイレを使用したり、屋上緑化、壁面緑化への散水、工所用散水車への補水は井水利用により上水の使用量削減に努めている。	
5	社会貢献活動	清掃活動	全体	○	毎月1回会社周辺の清掃活動と9月に新津町の神明宮の清掃活動を実施致しました。また、ボランティア活動にカウントしていますが、「花のりレー・プロジェクト」での草刈り作業や各現場ごとでも地域の環境美化に努めております。
		ボランティア活動	全体	○	今回は献血活動、校外学習の受入れ、チャリティイベントへの参加など会社としての取組み、ボランティア休暇を利用した社員個々のボランティア活動、また数人の現場員がキャリア教育の講師(未来授業)として学校で講義を行いました。
6	環境に配慮した 工事の（提案） 件数	建築	現場	○	1億円以上の現場では廃棄物の分別が徹底されてきました。今後もコンテナの多数設置が可能な現場では工事金額にかかわらず分別をしていく。
		土木		○	目標件数4件の達成をする事が出来ました。（全て再生材料の活用）次期の目標は再生材料の活用と現場散水車の井水利用とする。
		住宅		◎	太陽光パネル設置の提案は当たり前の事となり、目標を大幅に超える達成率となった。次期からの目標は提案では無く、太陽光パネル設置現場の件数とする。

### 6. 環境に配慮した工事（環境配慮目標）

建築：産廃の分別徹底、コンテナ多数設置（混合、石膏ボード、鉄くず、段ボール）

土木：再生材料の活用

住宅：太陽光パネルの設置提案

## 6-2 取組内容の評価

目的	区分	項目	責任者	担当	取組内容	期末評価	活動時期
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	矢野	全社員	①消灯の徹底	○	都度
					②クールビス、ウォームビスの推奨	○	
					③PC長期離席時、電源OFFの徹底	△	
	ガソリン	車両	社長	全社員	①アイドリングストップの励行	○	毎日
					②エコドライブの徹底（急発進・急加速・急停車等の禁止）	△	
					③車両の定期点検（タイヤ空気圧・不要積載物の確認）	○	
購入電力 化石燃料	照明 重機	部門担当者	現場監督	①重機のアイドリングストップの励行	△	毎日	
				②現場事務所内の消灯の徹底	△		
廃棄物の削減	コピー用紙の使用量削減		矢野	全社員	①コピー用紙の両面使用・裏紙使用	◎	毎日
					②封筒の再利用	○	
					③ペーパーレス化の推進（紙媒体からデータ化）	◎	
	産業廃棄物の再資源化率の向上		渡邊	現場監督	①廃棄物の分別化	○	毎日
					②プレカットの推進	-	
③仮設資材、用具のリユース化					○		
節水	上水	矢野	全社員	①節水表示	◎	毎日	
				②井水利用	○		
環境配慮	工事現場	部門担当者	現場監督	建築：産廃の分別徹底、コンテナ多数設置（混合、石膏ボード、鉄くず、段ボール） 土木：再生材料の活用 住宅：太陽光パネルの設置提案	○	随時	
地域貢献	ボランティア・清掃等		高橋	全社員	①本社及び現場の近隣道路清掃	○	毎月1回
					②お宮の清掃	○	年1回
					③ボランティア活動の推進	○	都度

## 7. エコアクション活動の取組み事例

### 社会貢献活動の拡大「献血車を呼んでの献血協力」

浜松いわた信用金庫さまと共同の地域交流イベント「ときはまフェス」において献血車を呼んでの献血活動を行いました。  
一般来場者および浜松いわた信用金庫職員とともに当社社員も積極的に献血協力をさせていただきました。  
最終的に56名21,800mℓの献血を致しました。



### 社会貢献活動の拡大「サステナブルオフィス見学会」

ZEB(Net Zero Energy Building)を達成した当社社屋を積極的に開放して、年間1,000名を超える見学者を受け入れています。  
夏休みには小学校高学年を対象とした「SDGs探検会」を実施して、多数の親子連れ見学者が訪れました。当社の地下水を活用した冷房システムなどのゼロエネルギー化の技術が、夏休み中の自由研究に活かされている様相が見受けられました。



### 静岡県産CO2フリー電気「静岡Greenでんき」の導入開始

地球にやさしく、未来をあかるく。



2022年10月15日より、中部電力ミライズが提供する静岡県内の水力発電所に由来した静岡県産のCO2フリー電気「静岡Greenでんき」の導入を開始しました。  
静岡Greenでんきは、大井川、天竜川、富士川、安倍川の各水系で育まれた豊かな水資源を活用し、県内22か所の水力発電所から生まれた地球環境にやさしいCO2排出ゼロの電力供給サービスです。  
ZEB(Net Zero Energy Building)の達成にプラスしてCO2フリー電気を導入することで、当社社屋は実質CO2排出ゼロを実現しています。

#### 「静岡Greenでんき」とは？



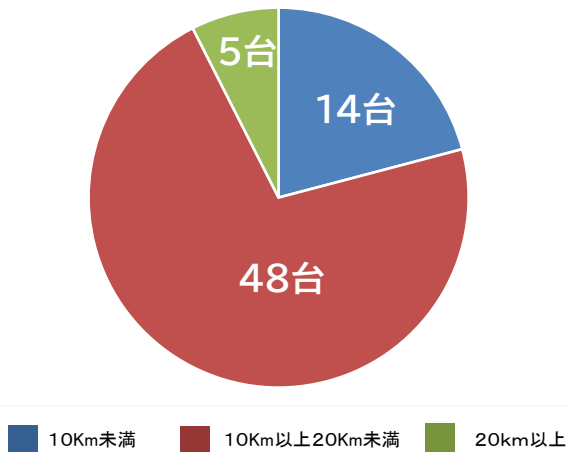
## 「花のリレー・プロジェクト」アダプト活動への参加

浜松いわた信用金庫さまが立ち上げた『天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト』に関わる奉仕活動イベントに当社の社員が参加しました。  
天浜線 常葉大学駅前周辺の草刈り作業を行いました。乗客の皆さんに花を楽しんで頂くだけでなく、草刈り作業中に手を振り合うなど交流も楽しむ機会となりました。



## エコドライブ

業務、通勤の自動車 燃費グラフ



・平均燃費：13.9km/L（2023年9月30日現在）

登録車両67台のうち  
・電気自動車 …… 1台  
・ハイブリッド車 …… 16台  
☆全体の25%が低燃費車

燃費20km/L以上の5台の内訳は4台がハイブリッド車という結果でした。

また、今後自動車買い替え予定のある社員に対し、低燃費車の検討を促す呼びかけを各部門会議等で展開しております。

## 社有自転車の導入

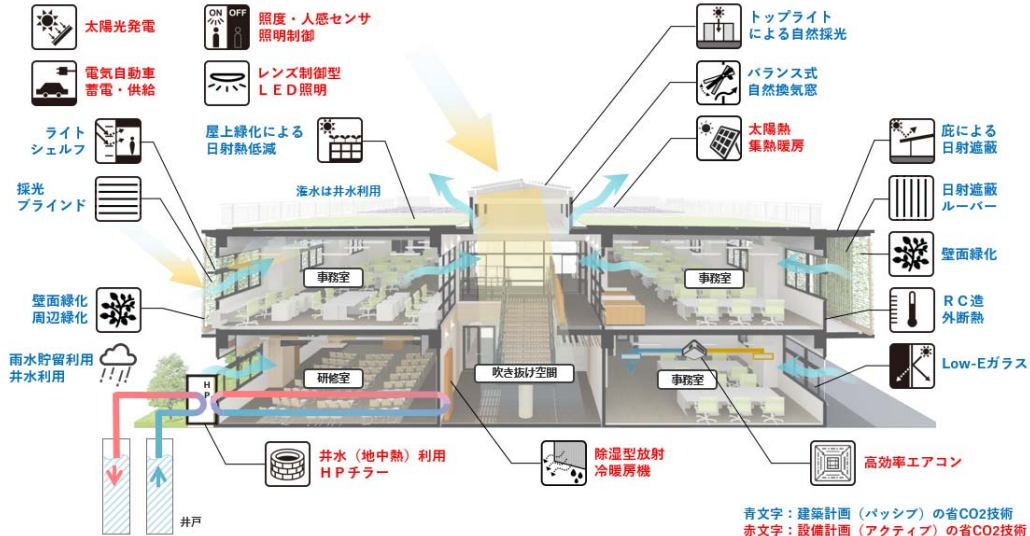
社員からのカイゼン提案により、社有自転車を導入しました。

これまでは自動車移動が基本だった営業先や買い物等、近隣ならば自転車を使うようになりました。

CO2、ガソリン削減に加え、駐車代金が不要、健康増進にも一役買うなど、エコ意識改革にも役立っています。



## “人と地球環境にやさしい、エコで快適な環境配慮型の事務所” をテーマに改築した自社本社事務所に採用した省エネ技術



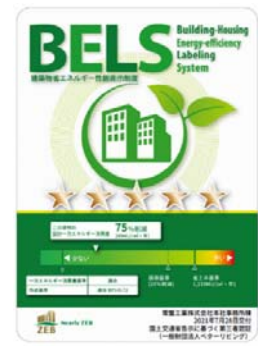
### 建物の環境性能

エネルギー削減：ZEB (Nearly ZEB)

建築環境総合性能評価（第三者認証）  
CASBEE Sランク

建築物省エネルギー性能表示  
BELS ★★★★★

国交省サステナブル建築物等先導事業  
（省CO2先導型）採択



### 普及活動

ZEBリーディングオーナー、ZEBプランナーとしてサステナブルな社会に向けてZEBの普及活動、営業活動を行い、2022年度は、企業、官公庁、教育関連など、約1400名の見学者がありました。



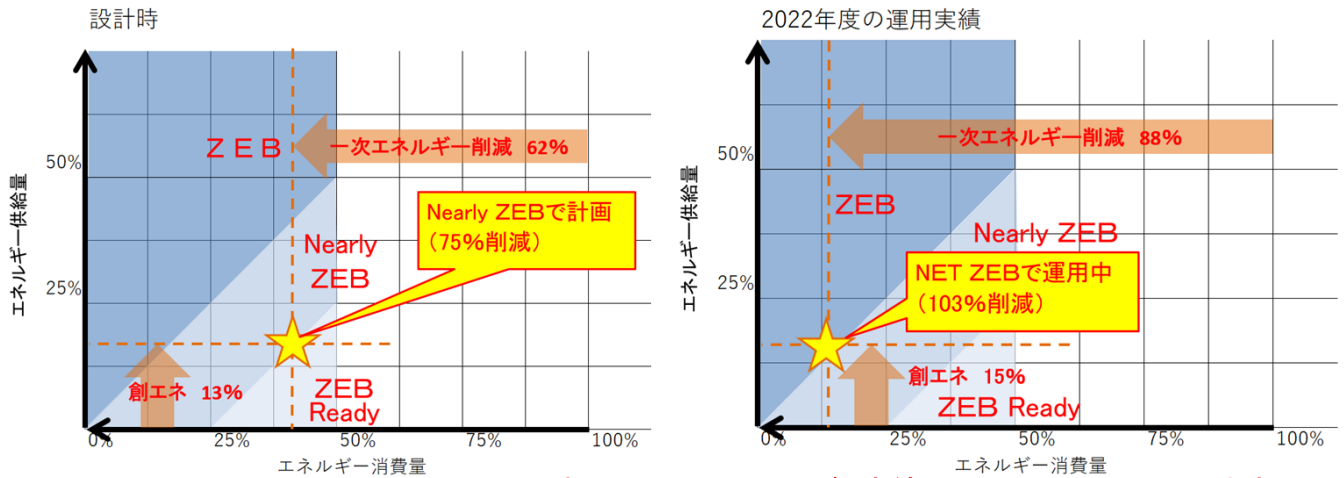
### 受賞、認定

令和4年度静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞

令和5年度浜松市カーボンニュートラル達成事業者認定



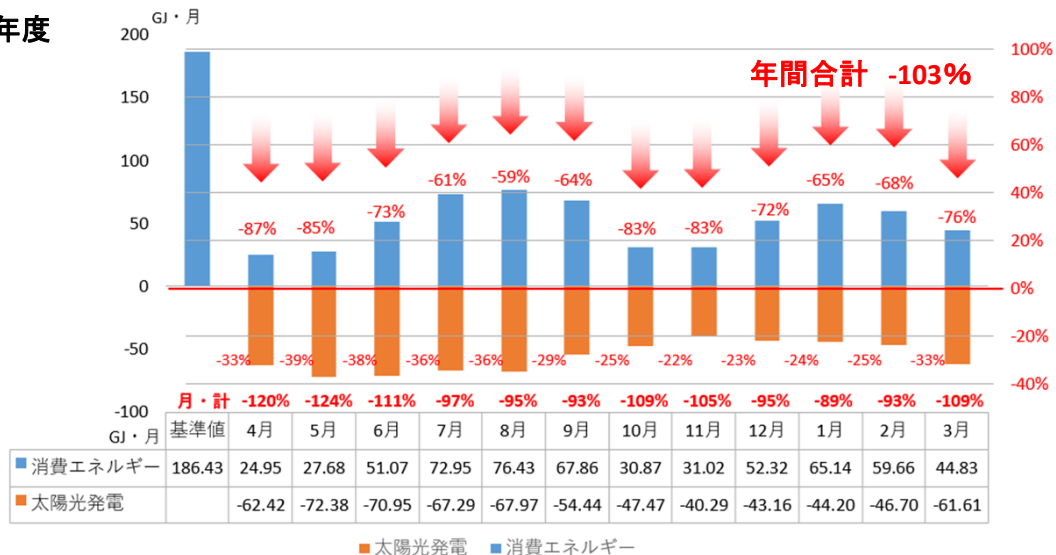
## ZEBチャート



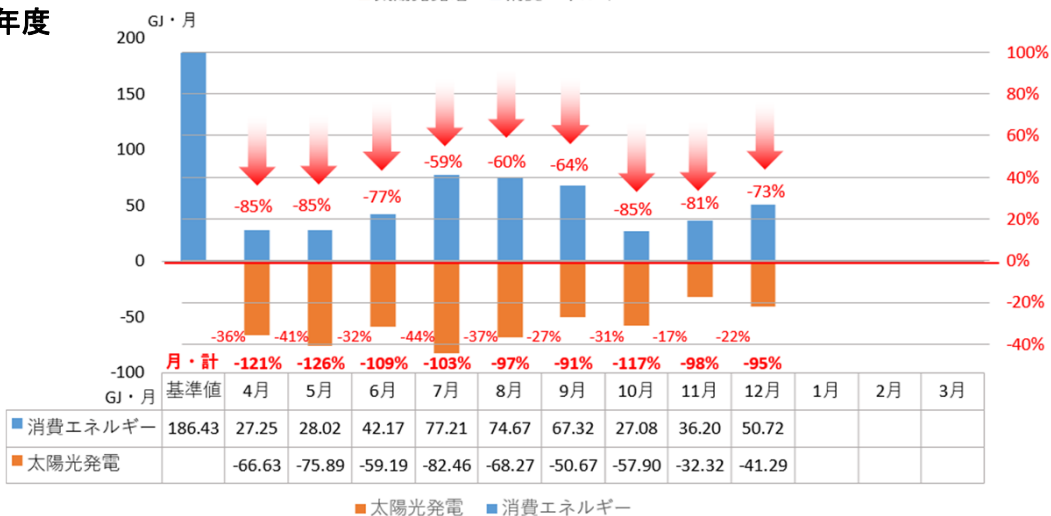
設計はNearlyZEBでしたが、実績はNet ZEBで運用しています。

## 月ごとの一次エネルギー消費量と削減率

2022年度



2023年度



2023年度は、前年よりもエネルギーを削減しています。

購入しているエネルギーは、全てグリーン電気としています。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

評価日 令和5年9月30日

遵守確認者：市川 浩透

適用対象	法規・条例・規制	条 項	適用内容または規制基準	実施事項	遵守 状況	違法 評価結果
建設業 建築・土 木工事施 工業	建設リサイクル法	第5条、第9条、第10条 第12条、第16条、第18 条	指定物品のリサイクル	現場で分別解体と再資源化 再資源化の実績の記録の作成・報告・保 管	○	マニュアルで管理
	廃棄物の処理及び清掃 に関する法律	第6条の2	事業系一般廃棄物の適正処理	一般廃棄物収集許可業者への委託	○	許可業者へ委託
		第12条	産業廃棄物の処理または委託基準の遵守、多 量排出事業者の削減活動の実施及び削減計画 提出報告(産廃1000t又は特産廃50t以上)	計画書の提出報告	○	浜松市へ提出
		第12条の2	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	選任	○	社長
		第12条の3	マニュアルの交付義務、記載義務	マニュアルの適正な作成	○	適正な作成
			マニュアルの保管・管理	5年間保管(B2・D・E票)	○	5年間保管
			マニュアルの期間内の返却の確認	90日以内又は180日以内返却の確認	○	期間以内の返却確認
		第12条の4	マニュアル管理票交付状況報告書の提出	6月末日までに提出報告	○	5年間保管
			虚偽管理票交付の禁止	法令順守	○	虚偽無し
	第16条	廃棄物の投棄禁止	法令順守	○	適正処理	
	廃棄物の処理及び清掃 に関する法律施行令	第6条	産業廃棄物の収集、運搬、処分等の基準	水銀使用製品保管場の仕切り、表示、委 託契約「水銀含有」	○	処理基準適合
	浜松市産業廃棄物の適 正な処理に関する条例	第4条	事業者の責務	教育を行う	○	E17アクション活動を通して教育
		第8条	産業廃棄物管理責任者の選任	選任	○	社長
		第10条	処理委託先の実施確認と記録	確認の実施、記録の保管	○	年度始めに確認
		第11条	産業廃棄物の不適正な処理に関わる措置等	是正措置及び報告	△	該当なし
	建設業法	第3条1項	建設現場の環境配慮対応	環境問題の未然防止	○	建設業許可済み
	建築基準法	第6条の2	建築物の敷地、構造、設備、及び用途に関す る基準の遵守	法令順守(防火・準防火地域内の適用除 外)	○	法令順守
	騒音規制法	第5条 浜松市告示第334号	規制基準の遵守	特定工場棟の規制基準の遵守	△	該当なし
		第14条	特定建設作業の届出	特定建設作業を行う建設工事の届出	○	都度届出
	振動規制法	第5条 浜松市告示第335号	規制基準の遵守	特定工場棟の規制基準の遵守	△	対象外
		第14条	特定建設作業の届出	特定建設作業を行う建設工事	○	都度届出
	悪臭防止法	第7条 浜松市告示第465号	規制地域内で、悪臭指数基準を遵守	悪臭対象物質確認	○	規制基準の遵守
	大気汚染防止法	第18条 14項・15項	特定粉じん排出作業等に係る規制基準の遵守	石綿を含む解体工事	○	発生の都度対応遵守
石綿障害予防規則	第5条	「石綿等使用建築物等」の飛散性及び保温材 等の解体、封じ込め・囲い込みを含む除去作 業	処理計画書の届出 作業主任者の選任	○	発生の都度対応遵守	
下水道法	第12条	公共下水道への排出	規制基準の遵守	○	規制基準の遵守	
オフロード法	第4条	事業者及び使用者の責務	排出ガスの抑制	○	適合リース重機使用	
	第17条	基準に適合した特定特殊自動車の使用	基準適合表示の施されたものを使用	○	適合リース重機使用	
フロン排出抑制法	第16条	管理者の判断の基準となるべき事項	空調機の定期的な簡易点検(3ヶ月に1回)	○	点検実施	
	第42条	特定解体工事元請け業者の確認及び説明	業務用冷凍空調機の有無確認と説明	△	該当なし	
自動車リサイクル法	第8条	使用済となった自動車の適法な引渡し	法令順守	△	該当なし	
家電リサイクル法	第6条	特定家庭用機器の搬出時、適法な引渡し	法令順守	△	該当なし	
事業者 全般	地球温暖化対策の推進 に関する法律	第5条	事業者の責務	温室効果ガス排出抑制、自治体施策への 協力	○	E17アクション活動を通して協力
	循環型社会形成推進基 本法	第11条	事業者の責務	循環的な利用(再使用、再生利用、熱回 取)	○	リサイクル法の遵守
	グリーン購入法	第5条	事業者及び国民の責務	製品・サービス当・購入にあたり、できる限 り環境物品等を選択	○	E17マーク商品を選択

■当社に適用される環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

- ・上記の通り環境関連法規及び条例を事業所、現場ともに遵守しており、違反はありません。
- また、関係当局からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟なども過去3年間ありません。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

### ①代表者による確認

項目	確認	必要に応じてコメント
1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	最新版確認
2 環境経営目標および目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	達成率100% 11項目中11（評価：○以上の取組項目）
3 環境経営計画および取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	今期の結果を踏まえ、次年度の計画を策定
4 環境関連法規および遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	関連法規はすべて遵守
5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	事務局・社長室を通して対応できている
6 その他	<input type="checkbox"/>	

### ②代表者による評価

項目	変更必要性		有の場合の指示項目など
	有	無	
1 環境経営方針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
2 環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	環境に配慮した工事の提案内容変更（土木：環境配慮機器の利用追加・住宅：太陽光パネル提案→パネル設置）
3 環境経営計画・取り組み項目	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	同上
4 環境に関する組織	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	主管組織を管理本部とする
5 その他環境経営システム要素	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
6 その他	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

### ③代表者による総評

<p>弊社にとって12年目となる「エコアクション21」活動でした。</p> <p>環境目標の達成率は100%でした。中でも目標を大きくクリアした項目は「社員のガソリン使用料」「現場の使用電力・使用化石燃料」「事務所のコピー用紙削減」「事務所の水使用量」「太陽光パネル設置住宅の提案」で、その要因はP10に記載した通りであります。</p> <p>次期に向けてのカイゼンですが、まず環境に関する主管組織を管理本部に変更して、より精緻な取り組みと管理をしていきます。また目標・取り組み項目の中で「環境に配慮した工事」については、より効果が高い内容に変更します。中部電力からの購入電気について、事務所については既にCO2フリー電気を契約しておりますが、次年度には現場の使用電気もCO2フリー電気を契約します。</p> <p>本社をネットZEBに建て替えたことや従来の取り組みにより、Scope 1、2における温室効果ガス削減は進んでいるので、今後はZEBやZEHの施工実績を増やすことでScope 3における温室効果ガス削減に貢献していきたいと思っております。</p>
--

令和5年12月1日  
常盤工業株式会社  
代表取締役 市川 浩透